

多様な流通における米の取引動向調査事業（継続）

【多様な流通における米の取引動向調査事業 15（20）百万円】

対策のポイント

生産者グループ等や、外食事業者等の実需段階における取引動向を含め、多様化している米の生産から消費に至る流通段階ごとの取引価格等の動向を的確に把握することとしています。

（背景）

米の流通については、全国出荷団体取扱米のシェアが低下する一方、農協直販、生産者直販等の全国出荷団体を經由しない取引が増加しているところです。

このため、生産者直販を含めた米の生産から消費に至る流通段階ごとの取引価格等の動向を的確かつ効率的に把握することが出来るよう調査手法を確立して調査を行うとともに、これを広く一般に情報発信することにより、需要に即応した米づくりの実現に資することとしています。

政策目標

米の生産から消費に至る流通段階ごとの取引価格等の動向を的確に把握し、政策的に活用することとしています。

<内容>

1. 米流通実態調査の実施

生産・出荷・販売事業者調査

米の生産・出荷・販売等の流通関係者を対象とした購入・販売に係る数量、価格等についてアンケート調査・ヒアリング調査

2. 調査結果の活用方法

多様化している米の流通実態に即した取引価格等の情報を発信

多様な流通における米の取引動向調査事業

15（20）百万円

委託先：民間団体等

[担当課：総合食料局食糧部計画課（03-3502-8090（直））]